

# 建設水道委員会のこれまでの経過について

建設水道委員会が約一年以上にわたり議案の審査が行えない状況となり、さらに議会全体にまで影響を及ぼす結果に陥ってしまった原因は、上下水道局における三課題、上下水道庁舎整備事業の件、上小阪配水場一号配水池更新及びポンプ施設棟新設工事の総合評価一般競争入札の中止の件、上下水道局所有の遊休地の件になります。

遊休地の件も含め、三課題が解決できない限り、建設水道委員会にかかる議案等については、到底審査できる状況ではないという建設水道委員総意の結論に至りました。こうした状況から、これまでの間、三課題の解決に向けた委員会を平成二十九年五月十二日から平成三十年三月二十九日まで計二十回開会し、粘り強く指摘を行いました。

最終的な結果として、上下水道庁舎整備事業については、基本構想で示した額を念頭に現計画の見直しを行っていくこと、上小阪配水場一号配水池更新及びポンプ施設棟新設工事の総合評価一般競争入札の中止については、再発防止策の徹底は勿論のこと、事務執行についての各種関係法令や社会規範の遵守である「コンプライアンス」を徹底して業務の効率的・効率的且つ適正な執行に努めていくこと、上下水道局所有の遊休地については、定期的な点検や使用許可違反に対する適正な事務執行を行っていかなったことから、職員の意識改革の取り組み、適正な事務

このことから、委員会は勿論のこと議会を無視し、議会と行政の信頼関係を失う形となってしまいました。その結果、委員会で課題となっていた上下水道庁舎整備事業と上下水道局所有の

執行、適正な資産管理に努めていくこととなりました。総じて、これら三課題が生み出した根幹の要因となっていたのは、内部統制を含めた問題解決に取り組んでこなかったこれまでの上下水道局の体質・体制でした。このことを踏まえた上で、平成二十九年九月一日に就任した新上下水道事業管理者を筆頭にこれまでの上下水道局の考え方を捨て、早急にこれらの状況を改善するために、内部統制にかかる基本的な枠組み作りを行い、その中で事務執行の適正化をはじめ事務分掌規程等の見直しや、職員の意識改革を図るための研修実施を進め、人事異動を含めた職員の体制強化を図り、新たな上下水道局として、議会に対して信頼回復に努めていくことになりました。

最終日に大阪維新の会から提案されました東大阪市議会政務活動費の交付に関する条例を廃止する条例制定の件につきましては、閉会

中の継続審査として議会運営委員会へ付託されました。

## 市長専決

上程されていましたが、議案のうち東大阪市手数料条例の一部を改正する条例制定の件、及び平成二十九年東大阪市一般会計補正予算（第四回）の二議案は、十月三十日に、東大阪市立自転車駐車場条例の一部を改正する条例制定の件等の十三議案は、十二月二十七日に、それぞれ地方自治法の規定により市長の専決処分が行われました。

## 陳情

- 次の陳情は所管の委員会へ回付されました。
- ▼介護保険の要支援申請についての陳情
- ▼平成二十九年七月九日の東大阪集中豪雨についての陳情
- ▼教育出版・道徳教科書に掲載予定の野田市長の写真の撤回を求める陳情
- ▼災害時等に効果を発揮するマンホールトイレの整備及び避難所等の運営に関する陳情
- ▼知的障がい女性のこともを公立保育所から切り捨てる不当な差別的取り扱いについての陳情

## 今議会で市長が専決した議案一覧

議案名
東大阪市手数料税条例の一部を改正する条例制定の件
平成29年度東大阪市一般会計補正予算（第4回）
東大阪市自転車駐車場条例の一部を改正する条例制定の件
東大阪市営住宅条例の一部を改正する条例制定の件
東大阪市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定の件
東大阪市準用河川占用料徴収条例の一部を改正する条例制定の件
東大阪市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例制定の件
東大阪市都市公園条例の一部を改正する条例制定の件
平成29年度東大阪市一般会計補正予算（第7回）
平成29年度東大阪市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1回）
指定管理者指定の件（有料公園施設及び特定公園）
市道路線認定の件
市道路線廃止の件
平成29年度東大阪市水道事業会計補正予算（第1回）
平成29年度東大阪市下水道事業会計補正予算（第1回）

## 人事案件

### 平成二十九年九月二十九日

九月二十九日に、議会は次の方の選任に同意しました。は次の方の選任に同意しました。

（敬称略）

### 平成二十九年十月三十日

十月三十日に、議会は次の方の選任に同意しました。

（敬称略）

公平委員会委員	辰田 昌弘	教育委員会委員	村上 靖平
財産区管理委員	宮本 利亮	監査委員	牧 直樹
	田中 雅文	財産区管理委員	菅尾 豊彦
	南郷 有三		松井 國男
	大濱 進彦		谷口 政明
	東野 巖		
人権擁護委員	祝前 俊宏		
	石原 健治		